



# 草の根通信

URL: <http://www.manjiro.or.jp>

財団法人 ジョン万次郎ホイットフィールド記念 国際草の根交流センター

< 2006.3.20 >

Vol.49

住所: 東京都千代田区麹町2丁目12-18  
グランアクス麹町 602号室

電話: 03 3511 7171 // Fax: 03 3511 7175

E-mail: [info@manjiro.or.jp](mailto:info@manjiro.or.jp)

## 第16回サミットコロラド大会、万次郎特集コラム

### 第16回サミットコロラド大会

#### 申込〆切まであと3ヶ月!

今年9月にコロラド州で開催されるサミット大会の〆切が3ヶ月後に迫ってきました。多くの方々のご協力により、現在は**109名**から申込いただいています。

一部の地域分科会、オプション・プログラムは既に定員数まで申込をいただきました。



#### こんな方々が参加予定です!

現在、日本の各地域からこんな方々が参加を予定しています。

#### 山形・山形市:

山形・山形市:ダンスを教育の視点から捉え、青少年教育の一環としてレッスンしているダンス・グループが参加します。訪問地域はラ・ハンタで、コシャレ・インディアン・ダンサーと交流する予定です。

<コシャレ・インディアン・ダンサーに関しては次の特集をご覧ください>

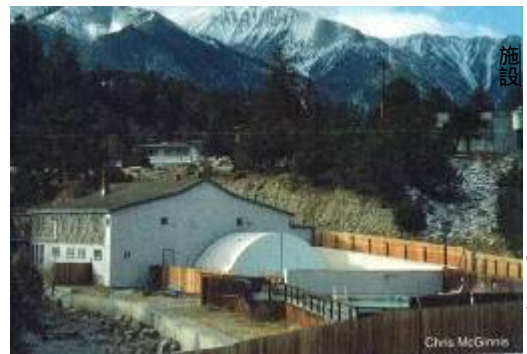


コシャレインディアン・ダンサー

#### 山形・米沢市:

米沢市からは「小野小町が浸かった湯」として有名な小野川温泉旅館のグループが参加します。訪問地域は温泉のある地域、チャーフィー・カウンティ、マントウ・スプリングス、クリアー・クリーク・カントリーを予定しています。各地域では、日本の温泉の魅力をアピールして2007年・能登大会後に訪問するプログラムを提案しています。

<コロラド州の温泉に関しては次の特集をご覧ください>



チャーフィー・カウンティのスパ施設

#### 石川・能登半島:

能登半島からは「第17回日米草の根交流サミット能登大会」の実行委員会やキーパーソンが参加します。コロラド大会の各プログラムに参加して、次回へのアピールをする予定です。クロージング・セレモニーでは第17回大会への意気込みとお誘いのプレゼンテーションがあります。

<第15回サミット東海大会に参加したコロラド大会キーパーソンに関しては次の特集をご覧ください。>



第17回サミット能登大会の開催中心地和倉温泉の様子

#### 協賛企業

NTTコミュニケーション株式会社 / 三菱商事株式会社 / 全日本空輸株式会社 / トヨタ自動車株式会社 / 明治安田生命保険相互会社 / 東京電力株式会社 / 株式会社大庄 / 武田薬品工業株式会社 / 株式会社菱食 / イオン株式会社 / 株式会社永谷園 / 東京海上日動火災保険 / キリンビール株式会社 / コカコーラ セントラル ジャパン株式会社

## 見逃せないポイント！(コロラド大会)

### コシャレ・インディアン(Koshare Indian)

コシャレ・インディアン博物館は、南西に勢力をもつプエブロ建築財団にならって作られ、世界最大級の自営の丸太屋根とネイティブ・アメリカンの華麗な芸術と工芸品の収蔵庫を併せ持っています。博物館は努力の末に建てられ、現在はコシャレ・インディアン・ダンサーズ  
米国ボーイ・スカウトのロッキー・マウンテン委員会の232団とベンチャー・クルー2230 の拠点となっています。

南西・大草原地帯の部族が作り出す芸術と工芸品の保護と説明を通して、コシャレ・インディアン博物館は訪問者と全年齢の住民に実用的な教育経験を与え、そしてネイティブ・アメリカンの芸術や文化、そしてダンスを説明、理解、認識することを通し、若い生命力を増進することを目的にしたボーイ・スカウト・プログラムを行っています。

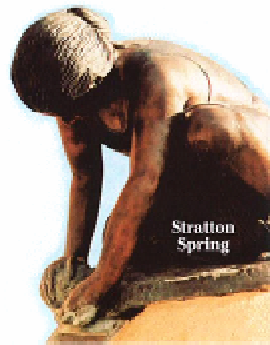
“コシャレ”は部族ではありませんが、プエブロ(この地域の名前)社会には不可欠な存在です。ダンスの間、これらの白黒ストライプのキャラクターは受け入れがたい振る舞いをマネし、コミュニティー(社会・地域)の価値を高める一方で、興をそえます。

ジェームス・フランシス(James Francis)“バック”・パーシャーズは、“コシャレ”の名前は彼のボーイ・スカウトのグループに適していると考え、そのため彼はそのグループをコシャレ・インディアン・ダンサーと名づけました。



### コロラド州の温泉

コロラド州の地名にみられる「スプリングス」は温・冷泉の意味があります。今回の大会では、コロラド・スプリングス、マニトウ・スプリングス、ポンチャ・スプリングス(チェューフィー・カウンティー)、アイダホ・スプリングス(クリアー・クリーク・カウンティー)などがあります。コロラド・スプリングスは既に涸れてしまっただけが残っていますが、マニトウ・スプリングスの地域には9もの源泉があります。[Iron Spring Geyser, Twin Spring, Stratton Spring, Wheeler Spring, Cheyenne Spring, Navajo Spring, Soda Spring, 7 Minute Spring, Shoshone Spring] 全て冷泉なので浸ることはできませんが、飲料冷泉として楽しむことができます。それぞれ味は異なり、ツイン・スプリング(Twin Spring)はカルシウムとカリウムを含み、甘みがあるそうです。



### “日本ツク”なキーパーソン(コロラド大会)

コロラド州は日本好きな方々が多いこともあり、10年前にサミット大会を開催した経緯もあり、今年の大会は参加者の皆さんが楽しめるでしょうと予想しています。これに加え、更に心強いことは一部のコロラド大会キーパーソンは、2005年第15回サミット東海大会でホームステイを体験し、日本人の心や交流の真髄を十分に理解していることです。

テラー・カウンティーのデクスターさん(実はサミット大会の常連です。)とラ・ヴィータのハリソンさん、クリアー・クリーク・カウンティーのロベズさんとロイヤル・ゴージ・カントリーのウィドム夫妻、そしてコロラド・スプリングスのシャンクさんが参加なさいました。キーパーソンの皆さんは東海大会のときの経験や思い出をもとに、コロラド大会で日本人を歓迎するように準備しています。



### 協賛企業

キャノン株式会社 / 野村ホールディングス株式会社 / 新日本石油株式会社 / 東京ガス株式会社 / 四国電力株式会社 / 関西電力株式会社 / 中部電力株式会社 / 株式会社東芝 / 株式会社日立製作所 / トヨタフィナンシャルサービス株式会社 / 日本郵船株式会社 / 富士ゼロックス株式会社 / 森ビル株式会社 / 三井住友海上火災保険株式会社

## 第17回サミット能登大会 開催決定！

### 2007年サミット大会は能登半島です！

2007年に日本で開催される「第17回日米草の根交流サミット」の場所が決定しました。石川県能登半島の和倉温泉を中心に、9都市でホームステイを行います。

日本海に囲まれた能登半島は、穏やかで雄大な海をはじめ、縄文時代から続く歴史や野生生物が生息する自然、そして文化を培う人々の魅力にあふれています。能登半島へ訪れる人々は、海や山の幸を楽しんだり、温泉郷を巡ったり、夏にはキリコ有名なお祭りを見たりしているようです。

**大会日程:** 2007年6月6日(水)～6月12日(火) (7泊9日間)

**地域分科会:** 七尾市、輪島市、珠洲市、羽咋市、能登町、穴水町、志賀町、中能登町、宝達志水町

今回初めての試みである大会テーマとテーマソングが能登大会実行委員会から届きました。

**大会テーマ:** 能登はやさしや土までも～海・山・大地の神々の住む半島～

**テーマソング:** 「能登の夢」 作詞: 森繁久弥

**参加締め切り:** 2007年3月31日(アメリカ人参加者の場合)



能登半島で開催されるキリコ祭り



日本海を臨む日本最古の展望台

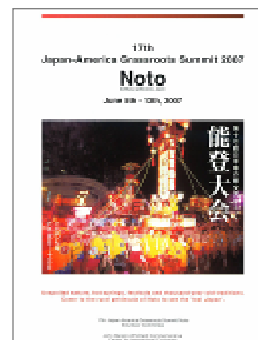
### アメリカのご友人にお知らせください！

サミット大会ではホストファミリーとの交流以外にも、参加者個々人が旧交を深めることも応援しています。

大会後に行われるオプション・プログラムでは、6箇所で行われるホームステイを計画しています。(山形(山形県)、金沢(石川県)、栃木・日光(栃木県)、神奈川(神奈川県)、広島(広島県)、鹿児島(鹿児島県))

ご興味をお持ちのご友人がいらっしゃいましたら、ご紹介ください。資料を送らせていただきます。

### 能登大会パンフレット完成！



「第17回日米草の根交流サミット能登大会」のパンフレット(英文)が完成しました。この大会は、日本人がホストファミリーや受け入れスタッフとなり、アメリカ人が参加する大会です。

## 2005-2006 アニュアル・アクティビティレポート完成！

昨年、東海地域で行われた「第15回日米草の根交流サミット」の記録を掲載しています。オープニング・セレモニーや地域分科会、クロージング・セレモニー、オプション・プログラムの写真が満載です。また2006年に行われる「第16回日米草の根交流サミットコロド大会」や、2007年「第17回日米草の根交流サミット能登大会」も併せてお知らせしています。

財団の概要では昨年新任した役員と、ご協力いただいている協賛企業が一新しています。なお推薦の言葉には昨年新任されたJ・トーマス・シーファ駐日米国大使のメッセージが掲載されています。



### 日英バイリンガル

今回のアニュアル・アクティビティ・レポートから、全ページ日本語と英語が記載されるようになりました。この「草の根通信」もこれまでは日本語の発信しかしていませんでしたが、英語の「CONNECT」というニューズレターを発信していく予定です。

英文は全て、ボランティアのケイティー・アンダーソンさん(イギリス出身)が担当しています。2005年の東海大会では現地スタッフとして、いろいろな場所で活躍くださいました。

### 協賛企業

オムロン株式会社 / 株式会社大島造船所 / 株式会社エヌ・ティ・ティ・ピー・シーコミュニケーションズ / 企業通信システムエンジニアリング株式会社 / エヌ・ティ・ティ・ファネット・システムズ株式会社 / エヌ・ティ・ティ・ワールドエンジニアリングマリン株式会社 / 株式会社サミックス / 宇佐美工業株式会社 / 株式会社キノシタ

## ジョン万次郎特集

「日米草の根交流サミット」はジョン万次郎(中濱家)とホイットフィールド家の出会いと、何世代にも渡る相互交流をシンボルとして、日本・アメリカ合衆国間の個人を尊重した交流活動とその支

援を行っています。これまで「草の根通信」では「サミット大会」を主体にお知らせしてきましたが、今号から毎回「ジョン万次郎のコラム」を連載していきます。



### “金”の時代 ジョン万次郎とコロラド州

ジョン万次郎が米国フェアヘーブで教育を受け、航海術を身につけた後に副船長を務めたことはテレビや雑誌などでご存知の方も多いでしょう。その万次郎が実は“フォーティー・ナイナー(49er)”だったことはご存知でしょうか。

“フォーティー・ナイナー(49er)”とは、1849年に米国カリフォルニア州で金鉱が発見され、一攫千金を夢見て金の採掘に殺到した人々のことです。彼らは、いわゆる“ゴールド・ラッシュ”と呼ばれる現象の当事者です。

万次郎が“フォーティー・ナイナー”だったのは

日本に帰国する費用を得るためでした。ホイットフィールド家族の住む東海岸のフェアヘーブから西海岸のサンフランシスコまでは得意の船で移動し、カリフォルニアの金山で帰国に十分な金を採掘すると直ぐに下山しました。このゴールド・ラッシュに参加したのは、日本人としては万次郎だけでした。

コロラドにもゴールド・ラッシュの歴史があります。万次郎が採掘した10年後、1959年にコロラドでも金が採掘され、コロラドには人々が押し寄せました。この地域は1848年にメキシコから割譲され、合衆国に加わったばかり

でまだまだ未開拓の地でした。コロラド大会で参加者の皆さんが見る“ゴーストタウン”や“鉱山跡地”はこの頃の遺産です。

航海で東部から西部へ移動した万次郎は、ロッキー山脈を越えることはありませんでしたが、フォーティー・ナイナーの中には命がけで超えた人も居たようです。

皆さん、今年の9月には飛行機からロッキー山脈を超え、コロラドでフォーティー・ナイナーの功績を楽しんでください。

## 財団からのメッセージ

昨年12月に役員の新任と理事長交代がありました。

今回は、2001年から5年間理事長を務めた波多野敬雄さんが理事に退任し、新理事長には愛知万博の日本政府代表を務めた渡辺泰造さんが就任しました。

また専務理事には㈱ユネクスの代表取締役会長を務める貴田昭一さんが就任しました。



ニューズレター「草の根通信」では、掲載する記事を募集しております。NPO活動をしていらっしゃる方々や、近々行われる交流活動の紹介などをお寄せください。時期によっては調整することもあります。お気軽にお送りください。

(Eメールでお待ちしております。info@manjiro.or.jp)

## サミット大会の隠れた魅力 (編集室より)

実はサミット大会には、日米の草の根交流以外にも隠れた魅力があります。

それは、日本のほかの地域の人々と知り合えることです。毎年サミット大会には、山形、広島、千葉、愛知を始めにいろいろな地域から参加されます。やはり参加する方は、過去にサミット大会を行った地域に多くなりますが、それ以外の地域の方々もサミット大会に関わった方々が「草の根交流」に共感し、家族や友人に伝わって広まった、まさに「草の根」の輪なのです。

私個人の体験ですが、2年前の「ニューイングランド大会」に参加した時に、ホストファミリーの都合で日本人3人でホームステイをしました。

一緒に泊まった日本人参加者の方々とは初対面だったのですが、相性がとてもよく、旧知の仲のように楽しく4日間を過ごしました。日本語で話すときにはお互いに地元の言葉を使うので、山形弁・広島弁・東京弁が入混じった会話でしたが何の違和感もありませんでした。

同じ家庭にホームステイをしなければ深められなかった友情と、偶然一緒の家庭になった確率を考えると、とても貴重で日本では味わえない素晴らしい経験でした。

日米交流を主体に、日本人同士でも交友を深め、お互いを尊重し合える素敵な機会だと感じます。そして、これが参加した人しか味わえない「隠れた魅力」なのだと思えます。

### 協賛企業

株式会社梅田工業 / 有限会社愛知マグマ / 藤光海運株式会社 / 株式会社大原工務店 / 株式会社石川工業 / 宇佐美産業有限会社 / 株式会社村上工業 / 株式会社JPホールディングス / 株式会社クルーズ / 株式会社丸万 / 株式会社水谷海苔店 / 株式会社メディウムジャパン / 株式会社バイオメトリカシステム・アジア (順不同)